



神を仰ぎ 人に仕う

# Chapel News

2025年6月6日(金)

No.4

## 信仰による勝利者ーバラク

今から 3000 年以上も昔のことです。イスラエルの民に太平の世を享受できる時代がありました。世が太平であるとき、イスラエルの民はどうなったでしょうか。心が神から離れて行きました。

その後、イスラエルに苦しい時代が到来しました。二十年にわたって外国カナン<sup>1</sup>の王に「力づくで押さえつけ」られる時代がやってきたのです。その理由を聖書はこう記しています。「主はハツォルで王位についていたカナンの王ヤビンの手に、彼らを売り渡された」(士師記 4:2)。主語は主です。主なる神がそうされたというのです。

イスラエルの人々は外国に虐げられ苦しんだ結果、神から離れていた心を神に向け直し、神に助けを求めて叫びました(士師記 4:3)。

当時、イスラエルにはデボラという女預言者がいました。彼女は主なる神の言葉を士師バラクに告げました。「行け、、、わたしは彼をお前の手に渡す」(士師記 4:6-7)。それを聞くと、バラクは言いました。「あなたが共に来てくださるなら、行きます。もし来てくださらないなら、わたしは行きません」(士師記 4:8)。バラクが願ったのは、他でもなく、主が共にいてくださることでした。

デボラはまた告げました。「立ちなさい、、、主があなたに先立って出て行かれたではありませんか」(士師記 4:14)。バラクは立ち上がりました。すると勝利がもたらされました。バラクは何をしたのでしょうか。ただ主の言葉にしたがって行ってみただけでした。すると、戦闘らしい戦闘もなしに勝利を手にしたのでした。「主は、、、すべての軍勢をバラクの前で混乱させられた」(士師記 4:15)。主なる神がそうされたのでした。

歴史の主は神です。神を信じ、神の言葉に従って歩むとき、行き着く先にあるのは勝利です。士師バラクは神の言葉にしたがって、信仰に生きました。すると驚くべき勝利が待っていたのでした。

(政治経済学部特任チャプレン <sup>ナグネ</sup> 洛雲海)

## 2025 年度年間聖句

あなたの重荷を主にゆだねよ。 主はあなたを支えてくださる。

(詩編 55 編 23 節)

## 全学礼拝期間について

2025 年度春学期の全学礼拝は、下記の日程でチャペルにて行っています。毎週火曜日から金曜日、14 時 40 分から 15 時 10 分です。どなたでも自由にご参加ください。

春学期 / 4 月 15 日(火)~7 月 25 日(金)

※詳しい情報はキリスト教センターホームページをご確認ください。

スマホでこちらの QR コードを読み取ってください →



## 聖学院教会の礼拝・祈祷会

毎週日曜日 10 時 30 分から日本キリスト教団聖学院教会の礼拝が行われています。

毎週木曜日 18 時 40 分から緑聖ホールC室にて祈祷会を行っています。

どなたでも自由にご参加ください。

## 主の祈り

天にましますわれらの父よ  
ねがわくはみ名をあがめさせたまえ  
み国をきたらせたまえ  
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ  
我らの日用の糧を今日も与えたまえ  
我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく  
我らの罪をもゆるしたまえ  
我らをこころみにあわせず  
悪より救い出したまえ  
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり アーメン



## ペンテコステとは

復活祭(イースター)から 50 日目の日曜日。ペンテコステとはギリシア語で「50 日目」「50 番目の日」の意味です。イースターに蘇ったイエスは 40 日間神の国について語ったのち、「まもなく聖霊が降る」と預言して弟子たちの目の前で、天に上げられていきました。そして復活から 50 日後、集まって祈っていた弟子たちの上に、約束通り神からの聖霊が降った出来事を記念したのが、ペンテコステ(聖霊降臨日)です。

## ★ チャペルでの全学礼拝時には以下についてご協力をお願いいたします ★

- \* 席は詰めすぎずに着席
- \* 起立での讃美歌の歌唱、主の祈りの唱和
- \* 携帯電話はマナーモードに設定して、しまってください。



6月10日(火)

— ペンテコステ礼拝 —

司会・奨励 菊地 順  
(聖学院院長・キリスト教センター所長)  
奏 楽 村上 野花



前 奏  
讃美歌 183 番 1、2 節  
聖 書 使徒言行録  
2 章 1～13 節(新約 P.214)

祈 禱  
ハンドベルによる賛美奉鐘  
「Simple Gifts」

奨 励 「聖霊の働き」

祈 禱  
讃美歌 183 番 3、4 節  
主の祈り  
後 奏

6月11日(水)

司会・奨励 木村 太郎  
(心理福祉学部チャプレン)  
奏 楽 相川 徳孝



前 奏  
讃美歌 312 番 1、2 節  
聖 書 ローマの信徒への手紙  
12 章 9～15 節  
(新約 P.292)

祈 禱  
奨 励 「共に生きるために」

祈 禱  
讃美歌 312 番 3 節  
主の祈り  
後 奏

6月17日(火)

司会・奨励 菊地 順  
(聖学院院長・キリスト教センター所長)  
奏 楽 清水 貴子



前 奏  
讃美歌 280 番 1、2 節  
聖 書 コリントの信徒への手紙二  
12 章 7～10 節  
(新約 P.339)

祈 禱  
奨 励 「人生の『とげ』」

祈 禱  
讃美歌 280 番 3、4 節  
主の祈り  
後 奏

6月18日(水)

司会・奨励 木村 太郎  
(心理福祉学部チャプレン)  
奏 楽 山田 志帆



前 奏  
讃美歌 285 番 1、2 節  
聖 書 コリントの信徒への手紙一  
10 章 13 節 (新約 P.312)

祈 禱  
奨 励 「真実なる神」

祈 禱  
讃美歌 285 番 3、4 節  
主の祈り  
後 奏

6月12日(木)

司会・奨励 柳田 洋夫  
(人文学部チャプレン)

奏 楽 清水 貴子



前 奏  
讃美歌 280 番 1、2 節  
聖 書 ローマの信徒への手紙  
5 章 1～5 節(新約 P.279)

祈 禱  
奨 励 「あなたの持ち味はどこから？」

讃美歌 280 番 3、4 節  
主の祈り  
後 奏

6月13日(金)

奨 励 高橋 理恵  
(学生支援課)

司 会 柳田 洋夫  
奏 楽 山田 志帆



前 奏  
讃美歌 187 番 1 節  
聖 書 コリントの信徒への手紙一  
10 章 13 節 (新約 P.312)

祈 禱  
奨 励 「与えられる試練」

祈 禱  
讃美歌 187 番 2 節  
主の祈り  
後 奏

6月19日(木)

奨 励 鈴木 光  
(日本キリスト教団勝田教会牧師、本学講師)

司 会 柳田 洋夫  
奏 楽 ングワ一路津子



前 奏  
讃美歌 280 番 1、2 節  
聖 書 創世記  
28 章 10～17 節(旧約 P.46)

祈 禱  
奨 励 「夢も希望もないはずが」

祈 禱  
讃美歌 280 番 3、4 節  
主の祈り  
後 奏

6月20日(金)

奨 励 井上 瑞穂  
(教育支援課)

司 会 柳田 洋夫  
奏 楽 倉橋 基



前 奏  
讃美歌 461 番 1、2 節  
聖 書 ヨハネによる福音書  
1 章 12 節 (新約 P.163)

祈 禱  
奨 励 「神様の子どもとして生きる」

祈 禱  
讃美歌 461 番 3、4 節  
主の祈り  
後 奏